

ドラマで学ぶ法務講座プロジェクト

表現者のための法務講座 1 「契約の成立とは」

作・早川 雄一

【はじめに】

本脚本は、舞台人や音楽家等の表現者が、身近な解り易い形で法務問題に関する知識を得られるツールを作ることを目的としています。

本脚本の内容は日本国内の法人格を持たない劇団における案件を想定しており、当事者間で遣り取りされた内容・降板の理由等、条件によって法的な判断は異なる可能性があります。

具体的な法務問題については、専門家にご相談されることをお勧めします。

表現者のための法務講座 1 契約の成立とは

○登場人物

- ・主宰者 ..
- ・劇団員 1 ..
- ・劇団員 2 ..
- ・劇団員 3 ..
- ・客演 ..
- ・劇団員 3 の彼氏（彼氏） ..
- ・ナレーション（ナレ） ..
- ・法務解説 ..
- ・エキストラ ..

○シーン 1（事務所）

法務解説、登場。

法務解説 「今日は、表現者であれば誰もが係わると思われる「契約の成立」について、ご紹介します。契約とは、どのようにして成立し、契約が破られた場合にはどのような事が起こり得るのか。まずは、とある劇団で起つたトラブルについて、こちらの映像をご覧ください。」

○シーン 2（稽古場）

劇団の稽古中。

ナレ 「小劇場を中心に、年に数回の公演を行う劇団〇〇〇。間近に迫つた公演に向け、劇団員達は今日も稽古に励んでいた。」

稽古が終わり、皆、帰り支度中。主宰者、客演に声を掛ける。

主宰者「いやー、さつきの演技良かつたよー。やっぱり客演君に頼んで正解だつたわ。」

ナレ「外部の劇団から、客演俳優として参加している客演は、今回の公演で重要な役を与えられていた。」

客演「そうですか？　ありがとうございます。」

主宰者「この調子で当日も頼むよ。でき、今夜も、一緒にどう？」

主宰者、酒を飲むジェスチャー。

客演「はい、ぜひ。」

○シーン3（居酒屋・テーブル席）

主宰者、劇団員1、劇団員2、劇団員3、客演、エキストラ、劇団行きつけの居酒屋にて飲み会中。主宰者、劇団員1、客演が同じテーブル、劇団員2、劇団員3、エキストラが同じテーブル。

劇団員1「お疲れ様です！　客演さん、何だか稽古するたびに格好良くなつてますよねー。」

客演「そんな、おだてたって何も出ませんよ。」

劇団員1「本当ですって。一緒に立つて、ガチで圧倒されそうになりますもん。本当、今回の公演、楽しみですよー。」

客演「楽しみですよね。俺、頑張りますよ、マジで。」

劇団員1、主宰者と話して視線が客演から逸れる。

客演 「頑張りますよ・・・マジで・・・」

客演、ビールを飲みながら横目でチラチラと斜め前を見つめる。視線の先には、劇団員3が劇団員2やエキストラと楽しそうに談笑している姿がある。

ナレ 「彼の公演への意気込みには、ある理由があった。」

物欲しそうな表情の客演。

○シーン4（客演の部屋）

部屋でくつろぐ客演。

携帯の画面。主宰者、劇団員1、劇団員2、劇団員3、客演が一度に写っている画像を携帯で見ている。画像を拡大して劇団員3と客演のツーショット画像のようにする。ニヤニヤする客演。

ナレ 「彼は、劇団員3に深い恋心を抱いていた。」

突然、メール着信の音。客演、少しだけ驚いた後、携帯を操作してメールを見る。

（メールの画面。メールは主宰者から。「昨日の稽古、お疲れ様でした。ついに本番まで残り1週間ですね。改めて、今後のスケジュールを連絡しておきます。客演君には色々と頑張ってもらうことになると思いますが、最後まで宜しくお願ひします！」）

客演、メールを打つ。

（メールの画面。客演が打った文面「わかりました！ いよいよ残り1週間ですね。最後まで宜しくお願ひします！」）

ナレ 「この公演が終わったら、自分の想いを伝えよう。そう考えていた。」

客演、メールを送信、再びくつろぐ。

○シーン5（稽古場前）

主宰者、劇団員1、劇団員2、劇団員3、客演、エキストラ、稽古からの帰り。

ナレ 「そんな、ある日の稽古終わり。」

主宰者「客演君、どう？ 今夜も」

客演「はい。ぜひ。皆さんも一緒に緒ですよね・・・」

客演、劇団員3に目を向けて固まる。劇団員3と彼氏が親しげに話している。

劇団員1 「劇団員3ちゃんはねー。今夜は、ちょっとねー。そのためのお泊まりセットだもんねー。」

劇団員2 「わざわざ稽古場まで迎えに来てもらうとか、愛されてるよねー。」

エキストラ 「いいなー、格好良い彼氏がいて。」

ナレ 「劇団員3には、交際して1年になる相手がいた。」

劇団員3 「お疲れ様でーす。」

主宰者、劇団員1、劇団員2、エキストラ 「お疲れーー！」

客演「お、お疲れー。」

引き繩った表情で挨拶する客演。

腕を組んで帰つて行く劇団員3と彼氏。呆然とそれを見送る客演。

ナレ「ショックを受ける客演。この直後、彼は信じられない行動に出る！」

○シーン6（稽古場）

主宰者、劇団員1、劇団員2、劇団員3、エキストラが相談中。

ナレ「公演を3日後に控えた稽古中。」

主宰者「実は、客演君が降板することになった。」

動搖する劇団員1、劇団員2、劇団員3、エキストラ。

主宰者「3日前から電話に出なくなつて、何度もこちらから連絡していたんだが、今朝、降板する、とのメールが届いた。これだ。」

主宰者、メールを劇団員1、劇団員2、劇団員3、エキストラに見せる。

（メールの画面。客演「諸般の事情により、降板させていただきます。皆さん、頑張つてください」）

主宰者「公演の延期も考えたが、この会場をまた押さえ直すのは難しそうだし、客演君なしで公演しようと思う。脚本を大幅に変えなければならんし、それに合わせて稽古の追加も必要だ。皆には更なる負担を掛けることになつて申し訳ないが、観に来てくださるお客様達のためにも、宜しく頼む。」

ナレ「客演が不在のまま、彼らは、3日後の公演を迎えることに。」

○シーン7（居酒屋・座敷席）

主宰者、劇団員1、劇団員2、劇団員3、エキストラによる公演の打ち上げ。

劇団員1 「いやー、色々大変だつたけど、何とか無事に終えられて良かった
一。」

劇団員2 「客出しの時の雰囲気も良かつたし、結果オーライですよね。ところで、客演さん、急に来なくなつたりして、一体何があつたんですかね？」

劇団員3 「さつき主宰者さんが、また客演さんに連絡してみるつて言つてしまつたけど・・・」

○シーン8（客演…客演の自宅／主宰者…外）

主宰者、客演に電話を掛ける。客演、電話に出る。

客演「・・・はい。客演です。」

主宰者、安堵と怒りが絹い交ぜになつた表情。

主宰者「客演君・・・！ 何で勝手に抜けたりしたんだ。」

客演「ちゃんと抜けるつて連絡しましたよ。」

主宰者「本番3日前にロクな説明も無しにメールで連絡つて、そんな簡単な話じやないだろ。君が抜けた穴を埋めるために、脚本を変えたり稽古を追加したり、皆がどれだけ苦労したと思つてるんだ。」

客演「そんなの、そつちの都合でしよう！ もう、あんたの劇団のことなんで考えたくもないんですよ！」

客演、一方的に通話を切る。やや悲しげな、厳しい表情の主宰者。

ナレ「それから2週間後。」

○シーン9（客演の部屋）

部屋でくつろぐ客演。メール着信の音。客演、不機嫌そうな顔で携帯の画面を見る。

客演「また主宰者からか？　何度送つて来ても見ねーよ。」

客演、携帯を不機嫌そうに置く。

（インターフォンの音）

客演「はーい」

客演、玄関へ。封筒を受け取つて部屋に戻る

客演「内容証明？　何だ？これ・・・」

客演、封筒を開けて中の文書を見る。2枚目まで読み進めたところで、驚く客演。

客演「費用を支払えって・・・何だよこれ！」

（文書が映る。題名は「通知書」。脚本の変更や追加の稽古等に掛かった費用を請求する旨の内容。）

ナレ「突然の、費用の請求。これは一体、どういうことなのか？」

○シーン10（事務所）

法務解説「いかがだったでしようか。契約というと、契約書の取り交わしをしなければ成立しないようなイメージを持たれる方も多いかも知れません。しかし、契約とは、当事者間の「申込み」と「承諾」という二つの意思表示が合致することによつて成立し、例え口約束やEメール等であつても、この

条件が揃えば、契約は成立しているものと判断されます。

今回の場合、主宰者が客演に対して出演の申込みをし、客演が稽古場まで来て稽古に参加している（シーン2）こと、また、主宰者が客演に出演に関する諸条件をメールにて連絡し（シーン4 主宰者からのメール）、それに対して客演が「わかりました」と承諾する旨の返信をしている（シーン4 客演からのメール）ことから、契約は成立しているものと判断でき、客演には依頼された役を公演で演じる義務があるものと考えられます。

そして、客演が正当な理由なく、故意にその義務を果たさなかつた場合、主宰者は、脚本の変更、それに伴う稽古の追加等、客演が義務を果たさなかつたことで生じてしまった費用を客演に請求できるものと考えられます（客演がお金を手にして困っている映像）。

こういったトラブルを防ぐためにも、公演を企画する時には、事前に、ご協力いただく方と、契約書等の形で文書を取り交わしておいた方が良いかも知れません。」

初版：2018年5月26日

本脚本についてのお問い合わせは

〒663-8032 兵庫県西宮市高木西町5-1 3-1 0 2
早川行政書士事務所 代表
行政書士・薬事コンサルタント 早川雄一
TEL:0798-31-2580 FAX:0798-31-2581
E-mail:yakuji-houmu@haya-gyou.net
URL: <http://www.haya-gyou.net>
<https://www.houmukouza.com>